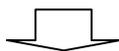


平成 25 年度当初予算要求の考え方【地域連携部】

1 優先度判断基準

(1) ~キーワード~

「地域の未来を拓く、緊急・継続性ある取組の推進」



「みえ県民力ビジョン」の目標達成
「県民ニーズ・県民生活への影響」 など



総合的・相対的に判断

(2) 所管事業の分類

市町・地域との連携
による地域活性化

地域スポーツ・
競技スポーツの推進

東紀州地域・
南部地域の活性化

(3) 政策的に特に注力する事業

選択・集中プログラム

(地域連携部：主担当)

- ・ 「新しい豊かさ協創 2 夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」

⇒ 地域スポーツの推進や平成 33 年国民体育大会を視野に入れた長期
スパンでの取組

(例：みえのスポーツ地域づくり推進事業費
競技スポーツジュニア育成事業費)

- ・ 「南部地域活性化プログラム」

⇒ 課題解決や地域活性化に向けた取組

(例：南部地域活性化推進事業(総合調整事業)費
集落支援モデルの構築事業費)

(4) 優先度判断

「みえ県民カビジョン」

目標達成影響度

優先度 A

- ・ 法令義務
(例：地籍調査費負担金)
- ・ 関係府県・団体等と連携し事業を推進するための負担金
(例：航空関係費、リニア中央新幹線関係費)
- ・ 選択・集中プログラム
(例：みえのスポーツ地域づくり推進事業費
競技スポーツジュニア育成事業費
南部地域活性化推進事業
(総合調整事業)費
集落支援モデルの構築事業費)

大

- ・ 県民生活にかかる交通手段
(例：地方バス路線維持確保事業費
離島航路支援事業費)

優先度 C

- ・ 内部管理事務経費
(例：地域連携諸費
地方連絡調整費)

小

